

[011]イチキガシ林の施業上主要なる基礎的事項に関する研究

片山, 茂樹
九州帝国大学

<https://doi.org/10.15017/14214>

出版情報：九州帝国大学農学部演習林報告. 11, pp.1-136, 1940-03-30. 九州大学農学部附属演習林
バージョン：
権利関係：



イチキガシ材はカシ材中の白眉にして車輛材造船材等軍事用材として王座を占めて居る。

而かも需要は日に急にして生産之れに伴はず、戦時下に於て將來の趨勢を睹るとき洵に寒心に堪へないものがある。本研究は九州帝國大學教授片山茂樹氏がイチキガシ林の施業に關し昭和八年設置せる高岡營林署管内宮崎縣東諸縣郡山の口村字青井岳國有林内の試験地並に本學糟屋演習林内の試験地に就き收め得たる資料と、九州各地の國有林に於て調査せる結果に基きイチキガシ林の施業上重要なる基礎的事項に付研究せるものである。本學宮崎演習林並にイチキガシを含む南九州一帶の常綠潤葉樹林の經營上裨益する所あるを認め茲に上梓することとした。

昭和十五年三月

演習林長 金平亮・三

イチキガシ林の施業上主要なる 基礎的事項に関する研究

序 言

本研究は熊本營林局の委囑に依り昭和八年高岡營林署管内に試験地を設けて、イチキガシ林の更新状況、稚樹の生長、手入の影響、被害等に関し今日迄七年間調査せる結果並に九大糟屋演習林内試験地に於て收め得たる成績と各地國有林を視察し傍ら調査せし資料に基き攻究し取纏めたるものにして、熊本營林局長は村田爲治技師、中金^三三技師、石原清逸技師の三代に亘り、計畫部長は田中波慈女技師より久野丘技師に、高岡營林署長は進六郎技手、村尾重徳技手、黒河内雅次技手、棚田清吉技師の四代に及び同署造林主任としては本田茂俊技手、沼田重忠技手、森林主事としては北川宗熊氏、岩山榮次郎氏、宮田秋人氏、西島積氏の人々に移つて居るのである。是等の人々が直接間接に與へられた援助と指導に對し深甚の感謝を表すると共に各地の國有林調査中多大の便宜を計られた關係營林署長、同署員、就中高崎、都城、小林、宮崎、高鍋、綾、妻、長崎の署長並に署員に又遙かに援助と好意を寄せられた山林局業務課長早尾丑麿技師に對し茲に厚く御禮を申上ぐ。其他糟屋演習林主任小坂壽夫氏並に各地國有林の調査に従事せられし森林經理學教室助手東鶴人氏及び試験地の植生調査を分擔されし當時學生伊藤馨氏、橋元祐一氏、草下正夫氏に深く謝意を表する。

抑も南九州の常緑潤葉樹林は九州の有する特色の森林で其の主要樹種たるカン類の施業殊に更新關係に關しては夙に攻究されて來たのであるが満足すべき結論に到達して居るとは云へない。其の主なる原因は研究者の轉任である。曾て熊本に設置された林業試験場の支場が今日迄續き、研究が繼續されて居たならば必ずや輝しき成果を齎し得たと考へらるゝも暫時にして廢せられ營林局に移り試験或は調査係で擔當されるに至つた。樹種豊富なる常緑潤葉樹林の更新並に施業に關する調査が

一、二の人々によりて擔任せられ然かも其の調査は長年月を要し周密なる觀察力を以て面倒なる調査を繰り返へさねばならない。且多くの場合轉任等により研究半ばにして後任者に引き繼ぐことゝなる。而して後任者が自然界への觀察力を修得する迄には相當の時日を要して其度毎に研究上に一頓挫を來すのである。

殊に營林署に於て施行せられて居る試験の如きは屢々前任者の調査方法に缺点を認めてか從來の試験を放棄して新に試験を始め一、二年にして後任者に引き繼ぐが如き場合が少なくないのである。然らずんば極めて貧弱なる資料を捉へ來つて想像を加へて大なる結論を導くの類に終るのである。斯くては充分なる成果を望むことは困難である。筆者は窃かに斯く感じ居る際熊本營林局よりイチキガシ林の施業に関する研究の一部を委嘱せられたので職を九州大學に奉じ轉任することなき事情に鑑み長年月を経れば何等かの結果を得るならんと考へ菲才自ら揣らず昭和八年高岡營林署管内に試験地を設置したのである。爾來本試験地を中心に或は糟屋演習林に播種試験地を設け或は其他國有林の實況を調査し來つたのであるが一面公務多忙に禍せられ一面觀察力の不足に原因して充分なる結果を捉へ得なかつた点のあることを惧るゝも茲に一應の取り纏めを爲し得たことは前記諸兄の鞭撻と後援の賜である。尙筆者は今後も本研究を怠らざる覺悟に付各位の叱正を乞ふて止まない次第である。

昭和十五年三月

片 山 茂 樹